蘇生

餘人、矢庭ニ被討殺、半死半生ノ者、五百餘人ニ及ヅ、

〔伊呂波字類抄 所疊字〕蘇活（ソクワツ イキカヘル）　蘇生　蘇息 已上同

〔下學集 下疊字〕蘇生（ソセイ）

〔類聚名義抄 八草〕蘇蘇 酥音　ヨミカヘル　イク

〔伊呂波字類抄 與人事〕穌 ヨミカヘル　息　活 已上同

〔運歩色葉集 與〕蘇（ヨミカヘル）　甦（同）　甦（同）　〔同 楚〕蘇生（ソセイ）

〔日本靈異記 上〕信敬三寶得現報緣第五 ○中略

蘇 左（左恐伊）來　甦 イキタリ

〔日本靈異記考證 上〕蘇甦 甦即蘇字俗也、此疑生字之誤、訓釋同、

〔源氏物語 四夕顔〕めのとにて侍るもの丶、この五月のころより、おもくわづらひ侍しが、かしらそりいむことうけなどして、そのしるしにや、よみがへりしを、○下略

〔和字正濫抄 四〕穌　よみがへる　日本紀に黃泉をよもつくにとよめり、万葉には、よみと點せり、もとみ五音通せり、よみがへるは、よみぢより歸るなり、

〔日本釋名 中人事〕甦（ヨミガヘル）　よみはやみ也、やみぢよりかへる也、萬葉に黃泉とかきて、よみぢとよめり、

〔倭訓栞 後編十七 與〕よみかへる　日本紀に蘇生をよみ、新撰字鏡に甦をよめり、俗によみぢがへりともいへり、泉路還の義也、孝謙紀に有來蘇之樂と見えたり、

〔萬葉集 三雜歌〕或娘子等賜裹乾鰒戲請通觀僧之呪願時、通觀作歌一首、

海若之（ワタツミノ）、奥爾持行而（オキニモチユキテ）、雖放（ハナツトモ）、宇禮牟曾此之（ウレモゾコレガシニカ）、將死還生（ヘリイカン）、

〔萬葉用字格 與〕死將還生（ヨミカヘラマシ）三 黃泉より歸り來るの意也

〔萬葉集 四相聞〕笠女郎贈大伴宿禰家持歌廿四首 ○中略